

<52> 指揮者のために。ダビデのマスキー
ル。エドム人ドエグがサウルのもとに来て、
「ダビデがアヒメレクの家に来た」と告げた
ときに。

52:1 勇士よなぜおまえは悪を誇りとするの
か。神の恵みはいつももある。

52:2 欺く者よおまえの舌は破壊を企む。まる
で鋭い刃物のように。

52:3 おまえは善よりも悪を語るよりも偽
りを愛している。セラ

52:4 欺きの舌よ。おまえはあらゆる滅びのこ
とばを愛している。

52:5 だが神はおまえを打ち砕いて倒し幕屋
からおまえを引き抜かれる。生ける者の地か
らおまえは根絶やしにされる。セラ

52:6 正しい人たちは見て恐れ彼に向かって
笑う。

52:7 「見よ彼こそ神を力とせず自分の大き
な富に頼り破滅のわざを勝ち誇る者。」

52:8 しかし私は神の家に生い茂るオリーブの
木。私は世々限りなく神の恵みに拠り頼む。

52:9 私はとこしえに感謝します。あなたの
みわざのゆえに。私はあなたにある敬虔な人
たちの前で素晴らしいあなたの御名を待ち望
みます。

ドエグはダビデの居場所をサウルに告げました。
サウルは自分の王位を守るために、ダビデを殺そう
としていたような者で、さらにはこの通報によつて
多くの罪のない人々を殺したのです。

ダビデは「欺きの舌よ。おまえはあらゆる滅び
のことはばを愛している。だが神はおまえを打ち砕い
て倒し、幕屋からおまえを引き抜かれる。」と歌い

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願い
など）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのど
の部分の主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

